

年金論		講義	教授 矢島 格	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23020208	

1. 授業のねらい・概要

少子高齢化の進行していくなか、我が国の年金制度に対する不安は高まっている。今後予想される人口動態を考えると、年金制度を支える現役世代が減り年金受給者が増加する状況は避けられず、年金制度の将来的な持続可能性に疑問が生じることが不安発生の主因である。加えて、年金制度が多種多様で複雑であることも、年金制度に対する不安を助長させている面も否めない。

こうした事情を踏まえて、この授業では日本の年金制度の概要をできる限りわかりやすく説明して、年金制度の問題や課題について、受講学生が正確に把握できるようにしていくことを目指す。

なお、本科目の履修にあたっては、「ファイナンス入門」と「FP 概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

テキストを使いながら、日本の年金制度の基本的なしくみや年金制度をめぐる最近の諸課題について講義形式で説明する。なお、必要に応じて、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. 年金制度のあらまし（１） （年金制度の概要と問題点）	8. 年金運用のしくみ（２） （GPIF の運用）
2. 年金制度のあらまし（２） （公的年金制度・企業年金制度のあゆみ）	9. 年金制度の改革（１） （在職老齢年金の見直し）
3. 年金制度のしくみ（１） （年金数理・財政のしくみ）	10. 年金制度の改革（２） （社会保障・税一体改革）
4. 年金制度のしくみ（２） （国民年金・厚生年金・共済年金のしくみ）	11. 年金制度の改革（３） （公的年金の一元化）
5. 年金制度のしくみ（３） （企業年金のしくみ）	12. 年金制度の改革（４） （企業年金改革）
6. 年金制度のしくみ（４） （年金税制のしくみ）	13. 年金制度の課題（１） （公的年金の将来像）
7. 年金運用のしくみ（１） （年金運用の概要）	14. 年金制度の課題（２） （年金基金によるコーポレートガバナンス）
	15. まとめと復習

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配布プリントやノートを使って復習しておく。なお、これらの準備学修には、２時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

レポート提出時に採点・評価のポイントを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

日本の年金制度の基本的なしくみを知り、年金制度が抱えている問題点と課題が理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（50％）およびレポートの結果（50％）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時までに指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

受講の要件としては、金融・ファイナンスの基礎知識があることが望ましいが、そうでない場合も、理解できるように説明する。疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、金融機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。